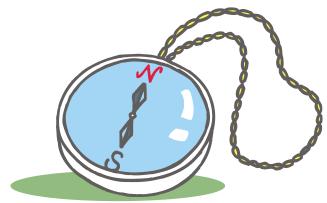


羅針盤

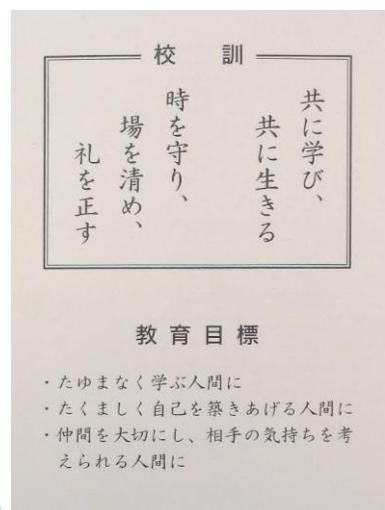


第 8 号

令和5年6月5日（月）

◆ 3つの教育目標

城陽中学校には2つの校訓、「共に学び 共に生きる」と「時を守り 場を清め 礼を正す」を基としながら、3つの教育目標「たゆまなく学ぶ人間に」、「たくましく自己を築きあげる人間に」、そして、「仲間を大切にし、相手の気持ちを考えられる人間に」があります。生徒の皆さん一人ひとりが、安全で安心して、有意義な学校生活を過ごしながら、中学校での3年間の学校生活を通じて自らが成長することができたと感じ取ってもらうためのとても重要な目標であると思います。まず、「たゆまなく学ぶ人間に」は、人間は誰もが一生涯を通じて学び続けることの繰り返しではないかということを投げかけてくれている言葉ではないかと思います。学ぶことをやめてしまった時点で、人としての成長を望むことはきっと難しいことでしょう。生徒の皆さんには学び続ける人であってほしいと思います。次に、「たくましく自己を築きあげる人間に」は、自主・自立の確立とともに、今やるべき目標をしっかりと見据えながら、その目標に向けて「自分にもできた」といった実感、あるいは、達成感といったものを感じながら、自己肯定感を高めていくことではないかと思います。つまり、自己を築きあげていくということ、それは、日々の様々な取り組みや活動の中からアップデートした自分を見つけていくことだと思います。最後の「仲間を大切にし、相手の気持ちを考えられる人間に」は、学校という集団生活の場を通じて、協力することの意味をしっかりとと考え、仲間との繋がりといったものを感じ取りながら、学級での学習活動や多くの学校行事・学年行事を通じて、思いやりの気持ちを育むことではないかと思います。自分の考えばかりを押し通すのではなく、他の人の意見にしっかりと耳を傾け、理解することから全てが始まります。自らが主体となって、共に学ぶ姿勢を忘れることなく、豊かな人生を過ごすことのできる人へと成長してくれることを願っています。



◆ 発想力を鍛えるために

発想力を鍛えるためのポイントについて、以前に、とある研修会でお話を聞いたことがあります。まず一つは、「物事を疑ってかかる」ということ、つまり、身についてしまっている習慣に囚（とら）われることなく、新たな視点で物事を見つめなおすことがとても大切なことであるという訳です。そして、二つ目に、「勘を磨く」ということ。言い換えれば、「感性を磨く」といったことでもあります。周囲の変化にいち早く気づいて、注意深く観察することができる力を養っておくことがとても大切であるということだそうです。この力は、時には少し先の時代が見えてくることにもつながっているようです。そして、最後に、何事においても「できないと言わない、思わない」ということ。生きていく中では、壁にぶち当たるといったことがたくさんあります。いつもいつもその壁をぶち壊して、といったことでは通用しないこともあります。「急がば回れ」といった方法もあるのです。いずれにしても、「諦めない気持ちを持続すること」が何よりも大切なことであると思います。